



4000万人が涙した、美しく切ない青春ラブストーリー。 1970年代の中国——激動の時代に軍歌劇団として前線で生きる若者たちがいた。

芳しさに目も心も引きつけられる。
美という概念が私の心の中で膨らむのか?!消え去るのか?!
美しさが崩壊した時、人は何に頼ればいいのか?!やるせない歳月。

苦色のせつない後味が・・・♡

萬田久子さん(女優)

黄軒(ホアン・シュエン)の演技に圧倒されました。
どこまでも誠実に人と向き合い、
草臥(くたび)れていく男の顔が目に焼き付いている。
俳優は作中でこうも変わるものか。

中島歩さん(俳優)

芝居はもちろんですが様々な面で青春や若さの美しさが
表現されている作品で、とても素敵でした。
色合いなどが意味深く美しく、映像一つ一つから深い感情や思いを感じました。

安藤ニコさん(モデル)

同年代の若者が運命に翻弄され愛情や友情、
時代に揺れ動きながら進むストーリーに目が離せませんでした。
激動の時代の中でも踊りは強く、それぞれの居場所であり続けていることに
踊りの魅力を改めて感じて心が動きました。

伊原六花さん(女優)

政治と歴史に傷つき翻弄される若者たちの群像。
失われたものの清冽さに、胸が締めつけられる。
海のこちら側で同時代を生きた者のひとりとして。

上野千鶴子さん(社会学者)

花のように脆く、美しく、喘々しい時間のなかで
歴史を感じることができたことをありがたく思う。

思い出は美しく残されるべきである。

たとえ辛い経験があっても。

小谷実由さん(モデル)

日本がテクパド 何だとバブルに突入して行った同時期に
中国は私の知らない激動期…。

軍歌劇団の女性達が眩しく印象的でした。

風吹ジュンさん(女優)

残酷な戦争とともにある流麗可憐な歌とダンス。
落差が切なく物悲しく、涙で心が洗われる。
変わりゆく時代にあっても変わらぬ青春の本質。
なつかしさとかすかな痛みがじわじわと余韻を残す。

中野香織さん(服飾史家)

今の日本こそ見つめ直すべき混乱の世。
政変と戦乱に翻弄された無垢な若者達の大河ロマン、
涙せずにいられません!

よしひろまさみちさん(映画ライター)

文革、中越戦争、時代に翻弄され政治に振り回されながらも
十代に感じた「美しさ」と真摯に向きあう。
嵐の下で清澄さを失わない泉のような、珠玉のストーリーに圧倒された。

富坂聡さん(拓殖大学 海外事情研究所教授/ジャーナリスト)

76年、歌や踊りを披露し兵士たちを慰勞
の文工団に、17歳のシャオピンが入団す
なじめずにいる彼女の唯一の支えは、模範
兵。しかし、時代が大きく変化する中、あ
っけに、二人の運命は非情な岐路を迎
え、車にもわたる二人の関係を軸に、文工団
の初恋と交錯する想いが、心に沁みる美し
りに彩られ描かれる、青春ラブストーリー。



(順不同)